

親子で楽しめる文化拠点施設 「自然と科学のミュージアム 森の工舎」が誕生 旧虎杖中の校舎をリノベーション

株式会社ナチュラルサイエンス（本社東京、小松令以子代表取締役社長）が2022年12月2日、虎杖浜の同社施設「スキンケア工園 ナチュの森」内に開設しました。小松社長は「白老町と10年にわたり取り組んできた『地域創生プロジェクト』の一つである、廃校跡地を活用したナチュの森の全施設がこれで完成しました。ものづくりを大切に、心を揺らすワクワク感を一つでも持ち帰ってくれれば」と喜びを話していました。オープン前日の内覧会で来場した町民の感想も「廃校がこんなにりっぱになるなんてすごい！いろいろ体験ができて楽しい」と大好評でした。科学体験を通じた発見、学びを楽しむことができる校内を写真で紹介しします。



テープカットでオープンを祝った小松社長（右から4人目）、戸田町長（同3人目）、小笠原登別市長（同2人目）ら関係者。後ろの棚は旧虎杖中で使っていた備品をおしゃれなおブジェにアレンジし置いています。吹き抜けには、旧校舎の蛍光灯をリサイクルした照明も。



「香りのラボ」フレグランスデザイナーが監修し、調香室も備えたラボ。体験型展示で自分に合った香りを見つけることができます。



「蒸留実験室」植物からハーブウォーターや精油を抽出する蒸留機を季節の植物を使っています。



「ライブラリー」自然の恵みと豊かな暮らしをテーマに、数千冊の本を選書。なかなか出会えない貴重な本をゆったりと読める空間です。



教室4室をリノベーションした「ギャラリー」現在は5月28日まで「ようこそ！絵本のまちへ展」を開催。ロングセラー絵本「からすのパン屋さん」の世界などが広がっています。



「蒸留カフェ&ショップ」倶多楽湖の湧水を使った水出しコーヒーなどオリジナルドリンクを用意。オリジナルのアロマやミストのキャンドルも置くショップです。

※営業時間や料金、定休日など問い合わせは、ナチュの森に電話（0144-84-1272）か、ウェブで。

2月12日まで

国立アイヌ民族博物館 第3回テーマ展示

「ウアイヌコロコタン アカラ」

民族共生象徴空間(ウポポイ)の言葉と歴史



展示は3章で構成。資料数は約60点。第1章は「ポロトの歴史と、ウポポイができるまで」。建設経緯やポロト湖畔の歴史を年表形式で資料とともに紹介しています。博物館地鎮祭の様子を記録した5分ほどの貴重な映像も流しています。第2章は「ウポポイのアイヌ語」。同館の第一言語をアイヌ語とする取り組みを紹介。現在に合わせたアイヌ語の解説文や案内表示が生まれるまでの検討、考えなどをパネルで展示しています。第3章は「博物館設立準備室での試み」。開館までのさまざまな取り組みを行ってきた同室の部屋の復元や具体物を示した実際の準備業務を紹介しています。

開館からおよそ2年半。佐々木史郎館長は「施設ができたいきさつや目的を記録し、博物館が誕生するまでの膨大なエネルギーを知ってもらおうアーカイブ。来場者の理解促進につなげたい」と話しています。同テーマ展示は無料（ウポポイ入場料は必要）。詳細はウェブで。



博物館地鎮祭を記録した貴重な動画



現在に合わせて園内で使用するため検討された150ほどのアイヌ語



設立準備室の部屋の復元